

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.119(平成26年11月)

日に日に秋が深まる季節となりましたが、リバーキーパーズの皆様方におきましてはますますご健勝のことと思います。スポーツの秋ですし、健康の為にも運動をはじめてみるにはいい時期かもしれません。

今回は、「土器川の祭り・踊り」と四国の水辺八十八カ所「大見海岸・津嶋神社」、「紫雲出山から見た瀬戸内海」について紹介します。

キーワード: 土器川の祭り・踊り

○概要

土器川流域の祭りや踊りを紹介します。

○岡田おどり

阿讃山脈から北に流れる台地の末端に位置する岡田の村々は、昔から水不足で、農民は毎年のように干害に苦しんできましたが、藩政時代、岡田上村政所久次郎は、私財を投げ打ち、1633年に現在の「亀越池」を築きました。「岡田おどり」は、村人たちが久次郎翁の労苦を想い、遺徳をしのいで踊ったのがその始まりと言われ、踊りの振り付けも、謡の節まわしも昔のまま伝わっています。毎年8月には追悼盆踊りとして「旧岡田上村政所久次郎紀功之碑」前で踊るのが習わしとなっており、現在まで踊り継がれてきました。昭和47年に綾歌町民俗無形文化財として指定されています。



○大川念仏踊り

古来、大川権現の信仰と関連して、大川神社氏子が雨乞いをしたことで大川念仏踊りとしていまも奉納されています。旧暦の6月14日に近い日曜日に大川神社、中通八幡神社、新生の龍王社、天川神社で大川念仏踊り保存会をはじめ氏子が奉納しています。琴南町の町指定無形民俗文化財として指定されています。



岡田おどり



大川念仏踊り

○田潮八幡宮の水浴び神輿

田潮八幡神社は、古くより応神天皇を祭り、青野山西麓に鎮座する土器八幡宮と崇められてきました。獅子舞とともに土器川を神輿が渡る行事です。神輿洗いという禊(みそぎ)の行事から起こったもので、土器川に御旅所(おたびしょ)を設け渡御祭場とし、この御旅所に神輿が到着した後、若者たちが神輿をかついで、水中で暴れまわります。この神輿の暴れるのが派手なほど、その年は豊作だといわれています。



田潮八幡宮の例大祭全景



田潮八幡宮の水浴び御輿と見物人

キーワード：四国の水辺八十八カ所 大見海岸・津嶋神社、紫雲出山から見た瀬戸内海

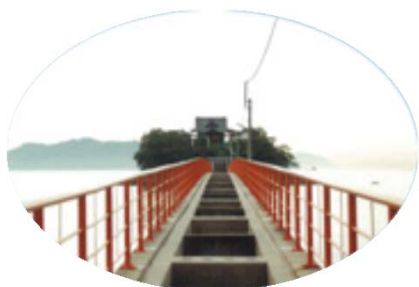


○概要

四国の水辺八十八カ所の中の香川の水辺を紹介します。今回は「大見海岸・津嶋神社」と「紫雲出山から見た瀬戸内海」の2カ所です。

○香川のみずべ「大見海岸・津嶋神社」

県道21号線を海岸沿いに走ると、子どもの守り神として信仰を集める津嶋神社が見えてきます。津嶋神社は約250mの赤い橋を渡った三野津湾の沖合に浮かぶ小島にあります。普段は渡ることができませんが、毎年8月4日・5日に行われる大祭のときだけ渡ることができ、多くの参拝客で賑わいます。付近には、大祭の時だけ使用される津島の宮駅を見ることもできます。



海上に架けられた津嶋橋



津嶋神社と津嶋橋



所在地：香川県三豊市三野町

ACCESS：JR予讃線津島ノ宮駅下車すぐ

○香川のみずべ「紫雲出山から見た瀬戸内海」

荘内半島の中ほどにある紫雲出山(標高352m)に登ると駐車場があり、そこから山頂展望台までは桜が植えられていて、春には桜のトンネル、夏には緑の木漏れ日のトンネルになり、山頂展望台までのアプローチとして楽しい空間になっています。

また、山頂広場の展望台からは、浦島太郎のゆかりの地である荘内半島の全景、瀬戸内海の多島美、穏やかな瀬戸内海の風景を眺めることができます。穏やかな瀬戸内海の海に点在する大小の島々は、よく考えられた庭石の配置のようです。



紫雲出山山頂の遺跡



紫雲出山から見た箱浦



所在地：香川県三豊市詫間町

ACCESS：高松自動車道・三豊鳥坂IC・さぬき豊中ICから車で約15分

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1623(計画課直通) FAX:087-821-1713

